

2015年9月20日(日)「弦楽四重奏クラシックコンサート」

秋の演奏会は、昨年につきクアルテット・セレシアの皆さんをお迎えして開催いたしました。

今回は、ウィーンで活躍した作曲家の楽曲で、
ハイドン：弦楽四重奏曲第82番 へ長調 作品77-2
ロプコヴィッツ四重奏 第2番「雲が行くまで待とう」より第1楽章、
モーツァルト：弦楽四重奏曲第21番ニ長調『プロシヤ王第1番』、
ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第10番 へ短調作品95
の3作品です。

本格的な弦楽四重奏曲を、2時間弱にわたりお楽しみいただきました。



来場してくださった方からは、
「この様な演奏を、こんなに間近で聴ける機会はめったにないのでよかった。」
「選曲も演奏も素晴らしかった。」という声をきくことができました。



昨年同様、楽曲について丁寧な解説をしていただきました。



また、図書館では今回のイベントに関連した視聴覚資料や図書資料で特集展示を行いました。こちらも多くの方に手に取っていただきました。